

令和6年度



YURIKAGO 通信

《5月号》

R6.4.24 東京ゆりかご幼稚園



「今日もよく頑張ったね」

6年度がスタートし2週間が経ちました。新入園児さんも園に慣れ、日々、遊びや活動の範囲を広げ、笑い声が響いております。ひよこ組、うさぎ組、もも組や、各保育所などの集団保育を経験してきたお子さんが多いこともあり、比較的落ち着いた雰囲気スタートできたのではないかと感じます。

しかし、新たな環境に慣れるには、大人もそうであるように、子どもも心身共に大きなエネルギーを使います。お家に帰りましたら1日幼稚園で頑張ったことを認め、「今日も幼稚園でよく頑張ったね」とお褒めの言葉をかけていただければと思います。また、お子さんから発せられる様々な「今日の出来事」に耳を傾け、うなずき、気持ちを受け止めていただけたら幸いです。話したがないお子さんもたくさんいらっしゃいますので、無理に聞き出す必要はありません。お子さんが話したいタイミングに応じていただければ幸いです。ご不安な点がありましたら、遠慮なく担任やその他の教諭におたずねください。皆様と共に、1人1人の健やかな成長を見守って参りたいと思います。



年中・年長の進級児さんは、1人1人が「小さな先生」になって、新入園児さんの手を取り教室まで連れて行ってあげたり、泣いている子にそっと声を掛けてあげたりする様子も見られ、とても頼もしい様子が見られます。しかし、進級して環境の変化に戸惑ったり、新たな生活リズムや活動に疲れを感じることもあります。ご家庭では十分に休息をとり、また園生活や活動に元気に取り組むことができるよう、ご協力をお願いいたします。

新たな取り組みの紹介

今年度から始まる新たな取り組みをいくつか紹介します。

● リヴ先生の自然遊び

「教職員紹介」にも掲載しましたが、「森あそびネイティブ」担当のリヴ先生がスタッフに加わりました。ECCのпатт(パトリック・ハーカー)先生のECCカリキュラムに基づく英語あそびとは別に、園庭や森での日常の遊びの中で、様々な自然あそびを一緒に行います。活動を共にする中で英語にふれたり、海外の文化や感情表現にふれたり、より身近で自然な関わりの中で、異文化や自然にふれることを期待しています。

リヴ先生のルーツであるスウェーデンをはじめ、デンマーク、ノルウェーなどの北欧諸国は、幼児教育・保育の考えや文化、また自然への考え方も日本と通じるものがあります。例えば、北欧由来の「森のようちえん」や、日本の「里山保育」などはそれに当たります。

自然の中で子どもを見守り、子どもの主体性を尊重しながら可能性を伸ばしていく考えは、本園の方針に沿うと共に、ユネスコスクールとしても新たなエッセンスを与えてくれることでしょう。



● アトリエハウス

ヤギのサークルの横に小さなログハウス「アトリエハウス」ができました。中には園内外で獲れた様々な自然物が収納されています。子どもたちはここから好きな素材を持って、近くにある青空キッチンのテーブルベンチ等で好きな制作を行います。まずは使い方を覚え、徐々に遊びを充実させていきます！



● コットンテント

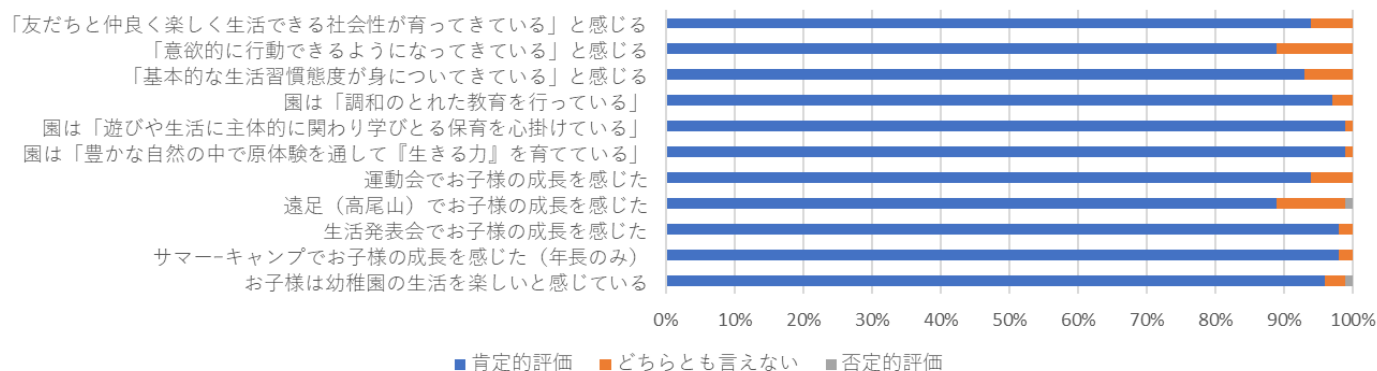
園庭の遊び場の拠点として、また休息や憩いの場として、北欧テントブランドである“ノルディスク”のコットンテントが園庭の数カ所に貼られる予定です。素材の良さでも知られる同社のテントは、暖かみと心地よさがあり、落ち着いた雰囲気でも過ごしたり、絵本を読んだり、お話を聞いたりする場としても効果が期待できます。また、園庭開放など、親子で過ごす場としても是非お使いいただければと思っております。様々な場所で試用しながら、最適な場所を見つけていきます。どうぞお楽しみに。



令和5年度アンケート調査ご報告

3月に、令和5年度在籍の保護者の皆様に「教育の質アンケート」ご協力いただきました。多くの項目で昨年度以上の肯定的評価をいただきました。課題点については精査し更なる質の向上に繋げるよう取り組んで参ります。ご協力、ありがとうございました。

教育の質アンケート



～学年の様子について～

☆年少さん・・・

新入園のお子様も園生活に徐々に慣れ始めたことでしょう。しかし、お子様によっては環境の変化に一生懸命慣れよう、ついていこうと気を張るあまりに、疲れが出たり大泣きをしたり、これまでになくお母様に甘えたりするといった反動が現れてくる時期です。

特に午後保育も始まり、これまでの家庭生活とのギャップに身体も心も少しずつ疲れを感じる頃、帰宅後は十分に休息を取り、ご家庭の温かな愛情で包んであげてください。また、併せて毎日幼稚園に頑張っているお子様をほめていただき、5月、いよいよ広がりを見せる園生活に前向きに取り組めるよう励ましてあげてください。

なお、長いゴールデンウィークには家庭で親御さんの愛情をたっぷりと受け、明けには「幼稚園に行きたくない」といった声も聞かれるかもしれません。4月上旬の様子に戻ってしまうお子さまも多くいらっしゃいます。慌てずにゆっくりと見守っていきたいと思いますので、お子様の様子に変化などがありましたらどうぞ担任までお知らせください。



毎日、たくさん遊び、いろいろなことが出来るようになりました。

☆年中さん・・・

年中さんは、年少さんとの環境の変化に戸惑いを見せ不安になったり、友達との関係が深まっていく過程で、今までと違った様々なケンカも出てくる時期です。幼稚園生活3～4年間の中で最も難しくまた大切な時期であるといっても過言ではありません。しかし、この時期の様々な葛藤が成長の証でもあり、周囲の大人が無理にこども同士の関係を引き離したり避けてやり過ごすことは根本的な解決にはつながりません。子ども自身が正面から取り組み乗り越えていこうとする姿を見守り、勇気づけ、そっとサポートしていくことが大切と考えます。我々教職員も子ども達のそうした姿勢をサポートして参ります。



枝豆の種蒔き



運動遊びプレイバルーン



年長と合同園外保育



ヤギさんどうぞ！

☆年長さん・・・

幼稚園生活を通して大きく花開く時期。特に2学期の運動会、3学期の生活発表会のように、クラスの皆で力を合わせ何かを成し遂げるといった協同的活動が活発になり、その過程では協調性や思いやりなどを伴った“集団における問題解決能力”が大きく育っていきます。

また、身体能力と並行して「少しのことでへこたれない」精神的な強さ、粘り強さ、忍耐力が育っていきます。更に、自然の変化や生き物等への関心も、感覚的に捉えるだけでなく、科学的な視点から観察したり、探求心を持って調べたり、自分なりに筋道をたてて考えることができるようになります。こうして徐々に小学校に向けた土壌がつくられていきます。



お米作りのスタート！ 種籾選定、芽だし



生き物探し



モニターで遠足導入

園 長

保育の様子はSNSでも随時アップしていますので、ぜひご覧ください！



Blog



Instagram



YouTube